

# ESET NOD32アンチウイルス V3.0

## 設定ガイド

このたびは、ESET NOD32アンチウイルス V3.0 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本ガイドでは、ESET NOD32アンチウイルス V3.0 の設定方法を説明しています。ご使用前にぜひご一読いただくことをお奨めします。

基本操作ガイドをご覧いただいたうえでこちらをお読みください。

## ■本書の表記について

- ESET NOD32アンチウイルスをインストール後、設定の変更を全く加えていない状態を「既定値」と表記しています。
- アイコンやボタンなどにマウスポインタ(☞)を合わせ、マウスの左ボタンを1度押すことを「クリック」、素早く2回押すことを「ダブルクリック」、マウスの右ボタンを1度押すことを「右クリック」と表記しています。
- ダイアログなどのチェックボックス、およびラジオボタンをクリックし、 の状態をすることを「チェックを入れる」「チェックをオンにする」と表記しています。
- Windows XP における「通知領域」を本書では「タスクトレイ」と表記しています。



デスクトップ画面右下の通知領域

## ■お断り

- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっている場合があります。また本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。ESET NOD32 アンチウイルスはスロバキア共和国 ESET,LLC ならびに ESET, spol .s.r.o. の登録商標です。本プログラムの著作権は、ESET,LLC ならびに ESET, spol .s.r.o. に帰属します。本 ESET NOD32 アンチウイルス設定ガイドの著作権は、キャノン IT ソリューションズ株式会社に帰属します。その他の製品名および社名などは、各社の商標または登録商標です。

■本書の表記について／■お断り……………2

## Part.1 ESET NOD32アンチウイルスの画面構成と画面操作

1-1 タスクトレイのアイコンから基本画面を表示するには……………8  
1-2 画面モードを切り替えるには……………10  
1-3 各機能を確認するには……………14

## Part.2 「保護の状態」画面での操作

2-1 コンピュータの保護の状態を確認するには……………20  
2-2 検出したウイルスの数を確認するには……………24

## Part.3 「コンピュータの検査」画面での操作

3-1 ハードディスクのウイルス検査を実行するには……………26  
3-2 さまざまな設定でウイルス検査（カスタム検査）を行うには……………28  
3-3 カスタム検査の詳細設定を変更するには……………32

## Part.4 「アップデート」画面での操作

- 4-1 ウイルス定義データベースのアップデートを手動で行うには… 34
- 4-2 アップデート用のユーザー名とパスワードを  
入力・更新するには …………… 35
- 4-3 アップデートをすべて自動で行うには …………… 37
- 4-4 自動アップデートの設定を確認するには …………… 40

## Part.5 「設定」画面での操作（ウイルス・スパイウェア対策編）

- 5-1 ファイル / 電子メール / Web アクセスの保護を  
一時的に無効にするには …………… 42
- 5-2 ウイルス検査をしない拡張子を設定するには …………… 43
- 5-3 ファイル / 電子メール / Web 保護の詳細な設定を行うには …… 46
- 5-4 プロキシサーバを設定するには …………… 47
- 5-5 Web 閲覧やメールの通信に対する  
ウイルス検査設定を変更するには …………… 48
- 5-6 詳細設定を保存・復元するには …………… 55

## Part.6 「ツール」画面での操作

- 6-1 詳細なログファイルを確認するには …………… 58
- 6-2 各種検査で隔離されたファイルを確認・追加するには …… 62
- 6-3 自動検査・アップデートのスケジュールを設定するには …… 64
- 6-4 新種のウイルスと判定されたファイルを提出するには …… 68

## Part.7 「ヘルプとサポート」画面での操作

- 7-1 ヘルプと FAQ（よくある質問）を見るには ..... 70
- 7-2 サポート情報を検索するには ..... 71
- 7-3 本製品に関する弊社ホームページに  
アクセスするには ..... 72



# Part. 1

## ESET NOD32アンチウイルスの画面構成と画面操作

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスの画面構成とその基本的な操作方法についてご紹介しています。

基本画面

タスクトレイ

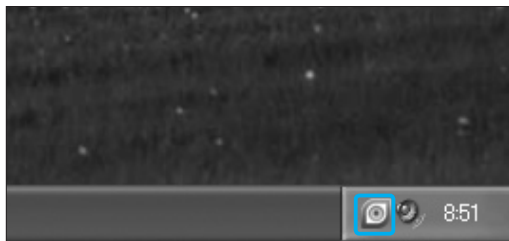
00009

1-1

## タスクトレイのアイコンから 基本画面を表示するには

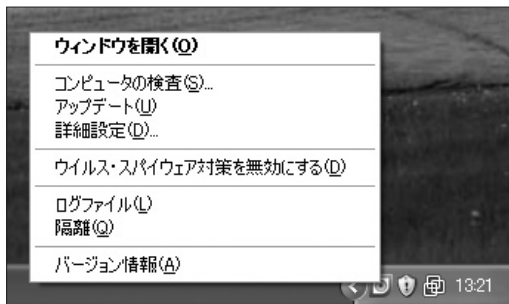
ESET NOD32アンチウイルス起動時には、タスクトレイにアイコンが表示され、ダブルクリックすることで基本画面が起動し、右クリックメニューから各種操作を行えます。最初はこのタスクトレイアイコンの操作から学びます。

### ■ タスクトレイアイコンと基本画面



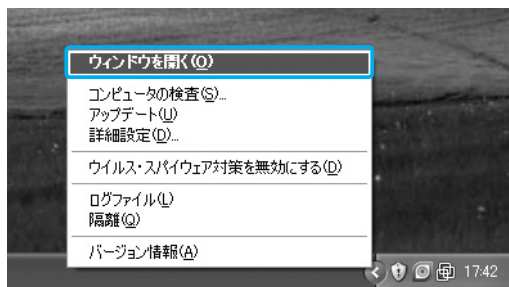
1

ESET NOD32アンチウイルスのアイコンはタスクトレイに表示されます。ESET NOD32アンチウイルスの動作を変更するには、同アイコンを右クリックします。



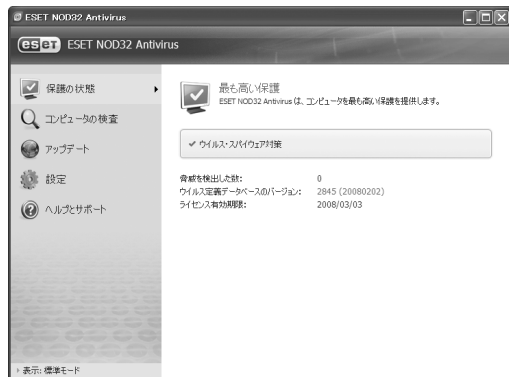
2

メニューが表示されました。ここから、各種操作の実行や画面を表示させたりすることができます。



3

基本画面を表示する手順は次の通りです。タスクトレイのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「ウィンドウを開く」をクリックします。



4

基本画面が表示されます。

## POINT

基本画面はアイコンをダブルクリックすることでも表示させることができます。



5

タスクトレイのアイコンにマウスポインタを重ねても何もしないと、ESET NOD32アンチウイルス本体や現在使用しているウイルス定義データベースのバージョンがバルーンとして表示されます。

標準モードと詳細モード

操作方法

00010

## 1-2 画面モードを切り替えるには

ESET NOD32アンチウイルスでは「標準モード」「詳細モード」の2種類のモードが用意されています。前者は基本的な機能に関する操作を行い、後者はESET NOD32アンチウイルスの詳細機能を操作するモードです。最初に各モードの切り替え方法を紹介します。

### ■ 標準モードから詳細モードへ



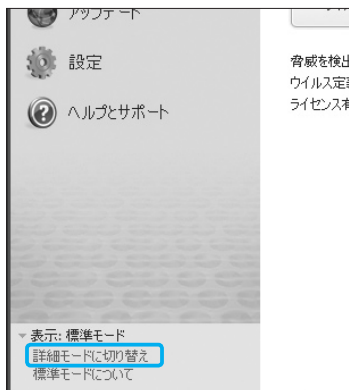
▶ 表示: 標準モード

1

基本画面の左下にあるステータスバーには、現在のモードが表示されています。ここをクリックします。

### CAUTION 「標準モード」「詳細モード」の違い

「詳細モード」では「メニューバー」および「ツール」ボタンが表示されます。ツールではログファイルの確認やスケジュール設定などが容易に行えます。



2

表示領域が広がり、操作方法を切り替える項目が表示されます。「標準モード」から「詳細モード」に切り替えるには、「詳細モードに切り替え」をクリックします。



3

①～②の手順で「詳細モード」に切り替わります。

表示: 詳細モード



4

[標準モードについて] (もしくは[詳細モードについて])をクリックすると、操作方法に関するヘルプが表示されます。

詳細モードについて

## ■ 詳細モードから標準モードへ その①



1

ESET NOD32アンチウイルスの基本画面で、ステータスバーの[表示: 詳細モード]をクリックします。

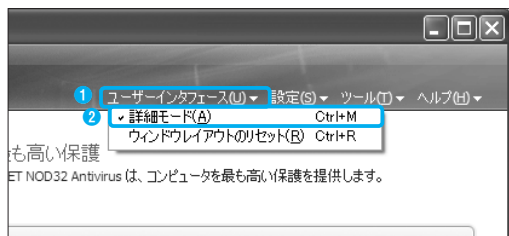
表示: 詳細モード



2

表示されるメニューから「標準モードに切り替え」をクリックします。

## ■ 詳細モードから標準モードへ その②



1

「標準モード」に切り替えるには、①メニューバーの「ユーザーインターフェイス」をクリックし、表示されたメニューから、②「詳細モード」をクリックすることでも行えます。

### POINT

メニューバーの「ユーザーインターフェイス」にある「ウィンドウレイアウトのリセット」を選択することで変更したウィンドウレイアウトを既定値に戻すことができます。

詳細モード

各機能

00011

# 1-3 各機能を確認するには

ESET NOD32アンチウイルスでは各機能がすぐに利用できるように、「保護の状態」「コンピュータの検査」といった項目を用意しています。ここでは各機能を説明します。

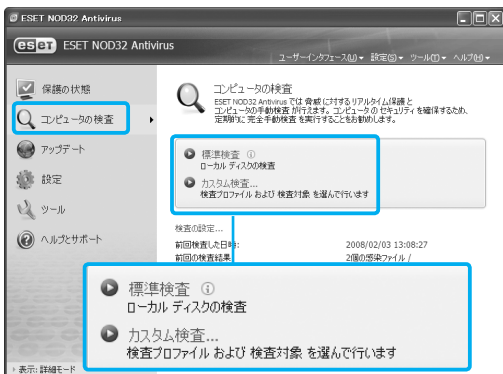
## ■ 保護の状態



1

詳細モードでは「保護の状態」ボタンに、1つの項目が用意されています。[ウイルス・スパイウェア対策]をクリックすると、ウイルスの発見数や感染率などが表示されます。

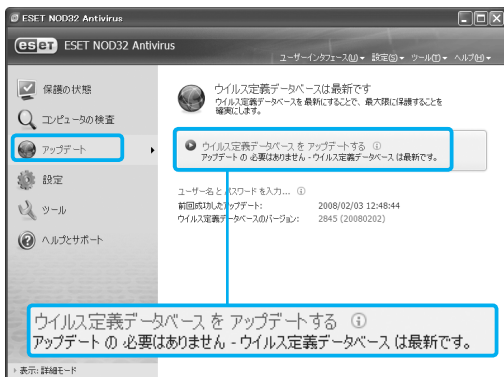
## ■ コンピュータの検査



1

「コンピュータの検査」はウイルスチェック時に使用します。同ボタンからは、ローカルディスクを検査する[標準検査]、任意のドライブやフォルダなどを検査する[カスタム検査]を呼び出せます。

## ■ アップデート



1

[アップデート]ボタンにある[ウイルス定義データベースをアップデートする]をクリックすると、ウイルス定義データベースをアップデートすることができます。また、アップデートがうまく行なわれない場合は[ユーザー名とパスワードを入力]をクリックして、設定をご確認ください。

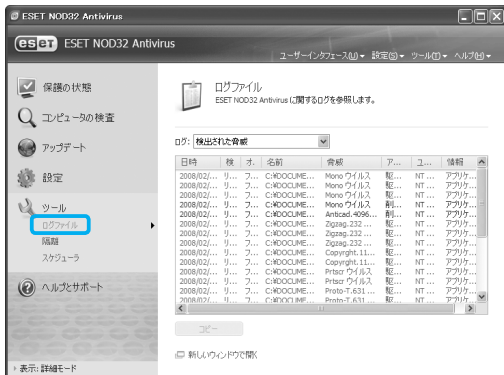
## ■ 設定



1

詳細モードでは[設定]ボタンに用意されている[ウイルス・スパイウェア対策]をクリックすると、ウイルスの侵入を監視する「リアルタイムファイルシステム保護」、電子メールの添付ファイルによるウイルス侵入を防ぐ「電子メール保護」、Web ページ閲覧時のウイルス侵入を防ぐ「Web アクセス保護」といった各保護機能の状態を確認・変更できます。

## ■ ツール

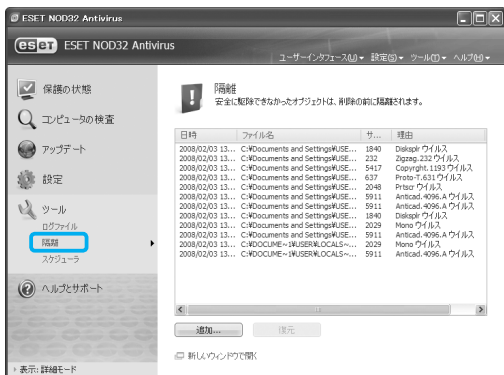


### 1

詳細モードでは、[ツール] ボタンに、3つの項目が用意されています。ウイルスの検出などのログを確認するには、[ログファイル] をクリックします。

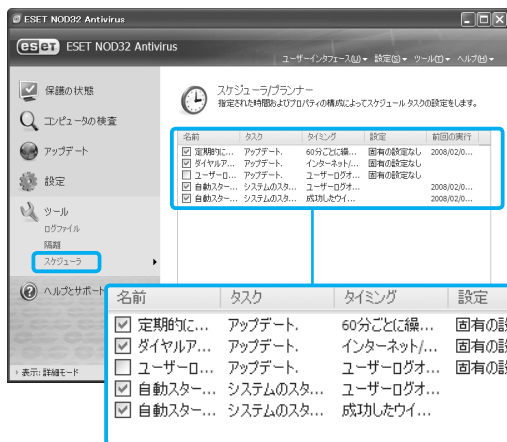
### POINT

画面のように [ツール] ボタンが表示されていないときは、1-2を参考に「詳細モード」への切り替えを行ってください。



### 2

[隔離] では、ウイルスとして隔離されたファイルを確認できます。ファイルが誤って隔離された場合は、ここから復元操作を行うことができます (P.62 参照)。



3

[スケジューラ]では、ウイルス定義データベースの自動アップデートや自動スタートアップファイルの検査といったスケジュールを設定できます。

## POINT

新しいスケジュールを追加するには、画面下にある [追加] ボタンをクリックして、必要な操作をウィザード形式で行います。

## ヘルプとサポート



1

[ヘルプとサポート]ボタンでは、トラブル発生時に役立つヘルプやWebページへのリンク、テクニカルサポートへの連絡方法などが用意されています。お困りの際に参照してください(P.70～参照)。

# コラム

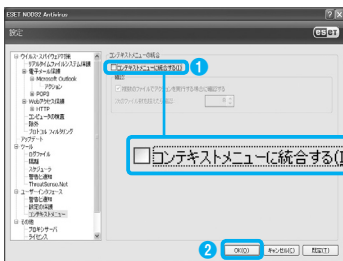
## ■ コンテキストメニューから項目を非表示にするには

コンテキストメニューとは、ファイル・フォルダなどを右クリックして表示されるメニューのことですが、これを非表示にすることもできます。たとえば複数人でパソコンをお使いで、他の人に操作をしてほしくないときなど、設定しておくとういでしょう。非表示にするための設定は次の通りです。

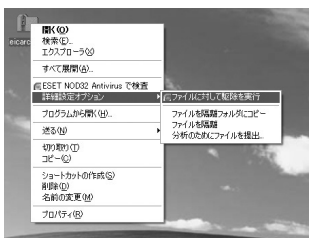
① 10～11 ページを参考に画面モードを「詳細モード」に切り替えます。



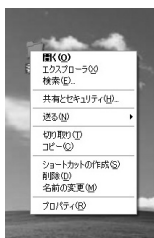
② ① [設定] ボタンをクリックし、② [環境設定で詳細な設定をする] をクリックします。



③ ① [コンテキストメニューに統合する] のチェックを外し、② [OK] ボタンをクリックします。以上で設定は終了です。



設定前



設定後

## Part.2

# 「保護の状態」画面での操作

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスの「保護の状態」画面でのさまざまな確認方法についてご紹介しています。

保護の状態

警告画面への対処

00012

2-1

## コンピュータの保護の状態を確認するには

既定値の設定では、コンピュータは最大限に保護されています。現在の保護の状態を確認し、保護機能の有効/無効を切り替える方法をご紹介します。

### ■ ウイルス対策機能を確認・有効にするには



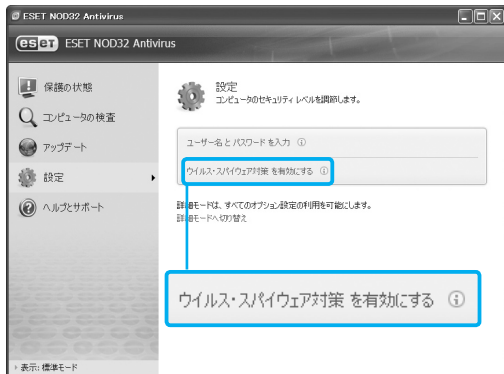
1

タスクから①「保護の状態」を選びます。②「最も高い保護」というメッセージが表示されていれば、すべての対策機能が有効になった通常状態です。



2

ウイルス・スパイウェア対策機能が無効になっていると①②画面のような警告が表示されます。



3

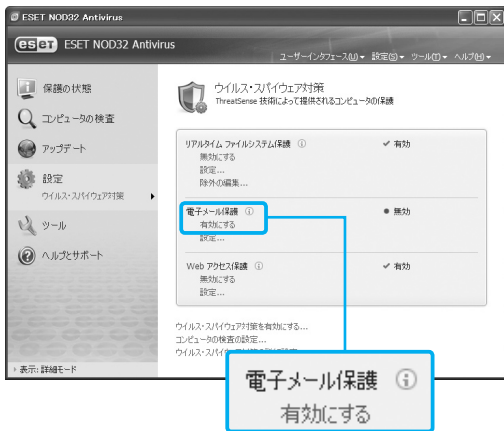
ウイルス・スパイウェア対策を有効にするには、[ウイルス・スパイウェア対策を有効にする]をクリックします。これで機能が有効に戻り、手順②の警告も表示されなくなります。

## ■ 電子メール保護機能を確認・有効にするには



1

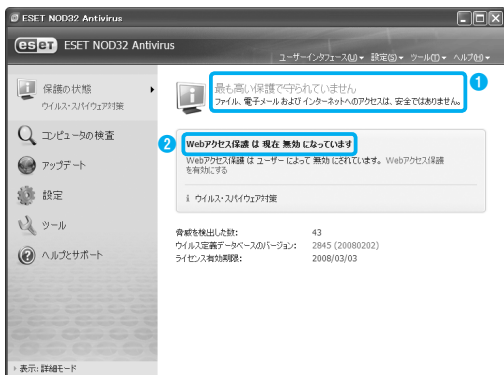
電子メール保護機能が無効になっていると①  
②画面のような警告が表示されます。



2

電子メール保護機能を有効にするには、詳細モードに切り替えた状態で、[設定] ボタンの [ウイルス・スパイウェア対策] をクリックして展開してから、「電子メール保護」の [有効にする] をクリックします。これで機能が有効に戻り、手順①の警告も表示されなくなります。

### Web アクセス保護機能を確認・有効にするには



1

Web アクセス保護機能が無効になっていると①②画面のような警告が表示されます。



2

Web アクセス保護機能を有効にするには、詳細モードに切り替えた状態で、[設定] ボタンの [ウイルス・スパイウェア対策] をクリックして展開してから、「Web アクセス保護」の [有効にする] をクリックします。これで Web アクセス保護機能が有効に戻り、手順①の警告も表示されなくなります。

## ■ すべての機能を一括して有効にするには



1

すべての機能を一括して有効にするには、詳細モードに切り替えた状態で、[設定] ボタンの [ウイルス・スパイウェア対策] をクリックして展開してから、[ウイルス・スパイウェア対策] を有効にする] をクリックします。

保護の状態

感染ファイル

00013

2-2

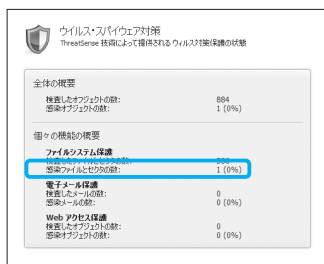
## 検出したウイルスの数を 確認するには

検出したウイルスの数を確認するには、「保護の状態」を開き、「ウイルス・スパイウェア対策」をクリックします。



1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、「保護の状態」下にある「ウイルス・スパイウェア対策」をクリックします。



2

大まかな情報は「全体の概要」で、より詳細な情報は「個々の機能の概要」で確認します。画面の例ではウイルス・スパイウェアを1種検出しています。

### POINT

画面のように「保護の状態」下に項目が表示されない場合は、1-2 を参考に「詳細モード」への切り替えを行ってください。

# Part.3

## 「コンピュータの検査」 画面での操作

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスの「コンピュータの検査」画面でのさまざまな操作方法についてご紹介しています。

## コンピュータの検査 ▶ ハードディスク検査

00014

## 3-1

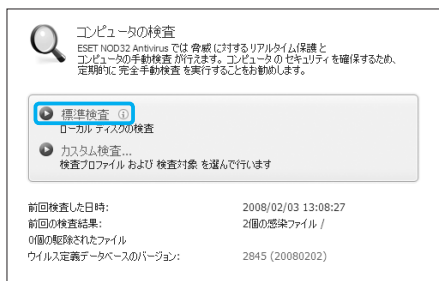
ハードディスクのウイルス検査  
を実行するには

ここではコンピュータに接続されたハードディスクなどを対象にする「ローカルディスクの検査」を行う手順を説明します。



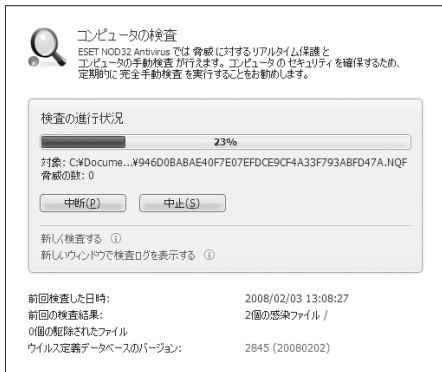
1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、[コンピュータの検査] ボタンをクリックします。



2

表示内容が「コンピュータの検査」に切り替わったら、「標準検査」をクリックします。



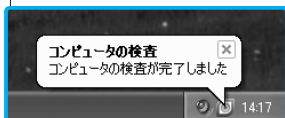
3

ウイルスの検査が始まります。進行状況を示すバーとパーセンテージが表示されます。検査が終了するまでお待ちください。一時的に中断したいときは [中断] ボタン、終了したい時は [中止] ボタンをクリックします。



4

検査が完了すると画面のように終了を示すメッセージとバールンが表示されます。[OK] ボタンをクリックして検査を終了しましょう。



## POINT

[検査ログを表示] をクリックすると、検査内容の詳細情報を確認できます。また、デスクトップなどにある単独のファイルやフォルダを検査する場合は、ファイルなどを右クリックし、表示されるメニューから [ESET NOD32 Antivirus で検査] をクリックします。ウイルスが発見された場合に自動的に駆除・削除を行うには、ファイルなどを右クリックし、メニューから [詳細設定オプション] → [ファイルに対して駆除を実行] をクリックします。

## コンピュータの検査 ▶ カスタム検査

00015

## 3-2

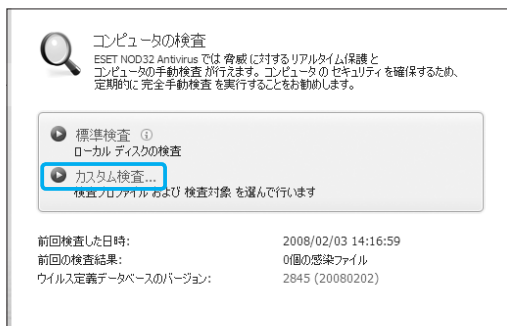
さまざまな設定でウイルス検査  
(カスタム検査) を行うには

特定のフォルダやネットワーク上の共有フォルダを対象にウイルス検査を行うには「カスタム検査」を実行します。



1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックしての基本画面を開き、[コンピュータの検査] ボタンをクリックします。



2

「コンピュータの検査」に表示が切り替わったら、[カスタム検査] をクリックします。



3 検査対象やプロファイルを選ぶためのダイアログが表示されます。



4 プロファイルの選択を行います。既定値では「詳細検査」が設定されています。そのほか、「マイプロファイル」「コンテキストメニュー検査」「スマート検査」の項目が用意されています。使用するプロファイルをドロップダウンリストから選んでください。

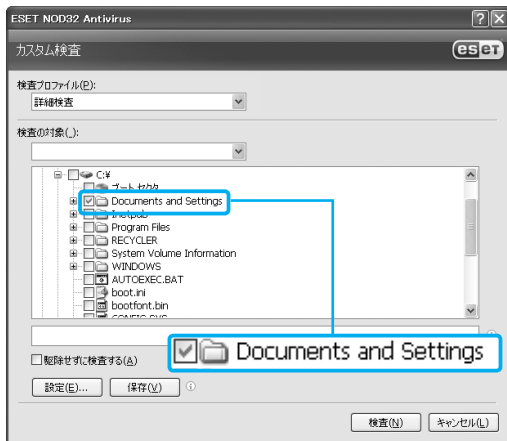
#### POINT▶

手順④で選択できるプロファイル内容は次のとおりです。  
**詳細検査**：メモリも含めたすべてのファイルの検査が可能です。

**マイプロファイル**：詳細検査と同様ですが、検査の対象などを細かく設定する場合はこちらを選択します。次回の利用時も同じ設定で検査を行うことができるので便利です。

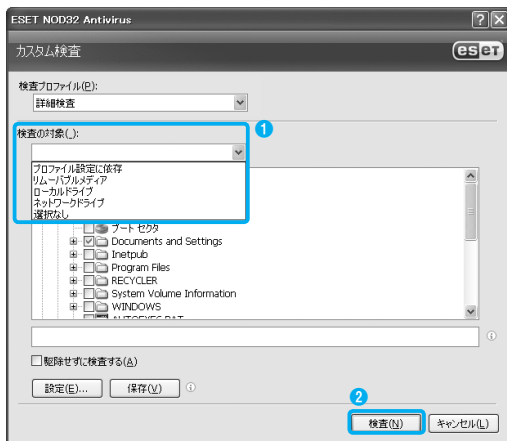
**コンテキストメニュー検査**：コンピュータが起動するための情報やメモリなどを除いた検査が可能です。

**スマート検査**：詳細検査と同様ですが、アーカイブファイル (ZIP 形式などで圧縮されたファイル) 内のファイルは対象に加えません。



5

今回は一例として Documents and Settings フォルダを検査対象にします。まずは、Cドライブの [+ ] ボタンをクリックします。フォルダ（ディレクトリ）が表示されたら、Documents and Settings のボックスをクリックしてチェックを入れてください。これで検査対象の設定は完了しました。



6

また、手順⑤の操作に代わって、カテゴリによって検査対象を選択することも可能です。  
①「検査の対象」のドロップダウンリストからは「プロファイル設定に依存」「リムーバブルメディア」「ローカルドライブ」「ネットワークドライブ」の4種類が選択可能です。最後に② [検査] ボタンをクリックします。



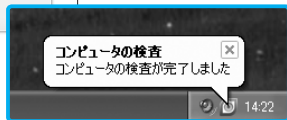
7

ウイルスの検査が始まります。進行状況を示すバーとパーセンテージを参考に、終了までお待ちください。一時的に中断したいときは [中断] ボタン、終了したい時は [中止] ボタンをクリックします。



8

検査が完了すると画面のように終了を示すメッセージとバルーンが表示されます。[OK] ボタンをクリックして検査を終了しましょう。



## 3-3

カスタム検査の詳細設定を  
変更するには

カスタム検査は既定値で十分な威力を発揮するように設定済みですが、場面に  
応じて動作やウイルス検査内容を変更する手順を説明します。



1

3-2 の手順①、②を行い、検査対象やプロファイルを選ぶためのダイアログを表示します。変更するプロファイルを選択したドロップダウンリストから選び、② [設定] ボタンをクリックします。



2

[ThreatSense の設定] 画面が表示され、カスタム検査に関する詳細設定を行うことができます。

# Part.4 「アップデート」画面での 操作

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスの「アップデート」画面でのさまざまな操作方法についてご紹介しています。

アップデート

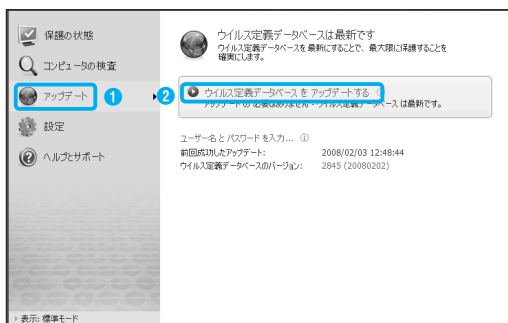
手動アップデート

00017

4-1

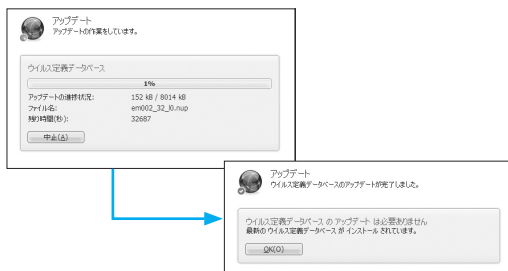
## ウイルス定義データベースのアップデートを手動で行うには

ESET NOD32アンチウイルスのウイルス定義データベースは、既定値では自動的にアップデートされますが、ファイルの検査を行う前に最新の定義データベースに更新したい方は、手動でアップデートを行うこともできます。



1

1-1を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、① [アップデート] ボタンをクリックします。画面が切り替わったら② [ウイルス定義データベースをアップデートする] をクリックします。



2

アップデートが完了すると、「ウイルス定義データベースのアップデートが完了しました。」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

### CAUTION エラーが発生するときは

アップデートが正常に行われなときは、更新サーバーが一時停止しているか、更新サーバーに接続する際のユーザー名とパスワードが間違っている可能性があります。後者の場合は 4-2 をご参照ください。

## 4-2

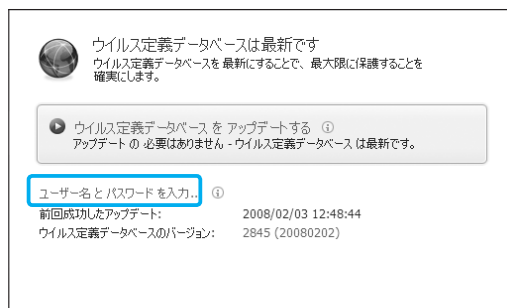
## アップデート用のユーザー名とパスワードを入力・更新するには

ユーザー名とパスワードの入力を求められてアップデートが失敗するときは、アップデート用のユーザー名およびパスワードが誤って入力されている可能性があります。



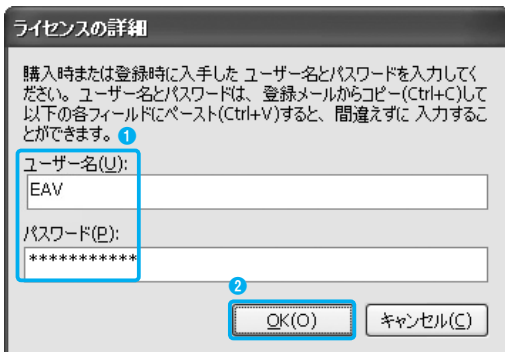
1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、[アップデート] ボタンをクリックします。



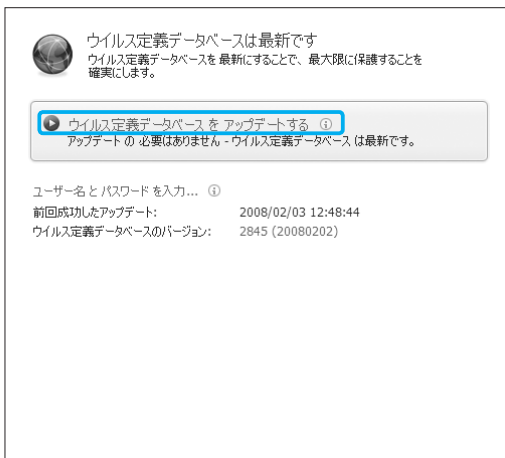
2

画面が切り替わったら [ユーザー名とパスワードを入力] をクリックします。



3

「ライセンスの詳細」ダイアログが表示され、ユーザー名およびパスワードの入力が可能になります。①誤って入力されている場合は、各入力欄に正しいユーザー名およびパスワードを入力して、②[OK] ボタンをクリックします。



4

[ウイルス定義データベースをアップデートする] をクリックし、アップデートが完了することを確認します。

アップデート

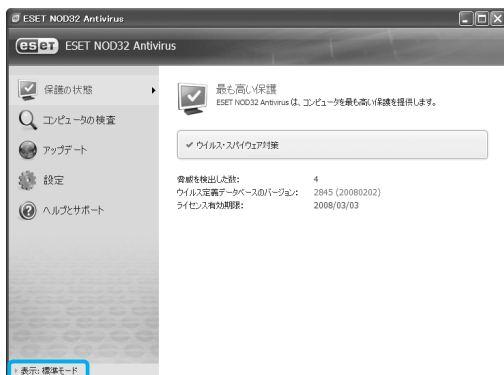
アップデート自動実行

00019

## 4-3

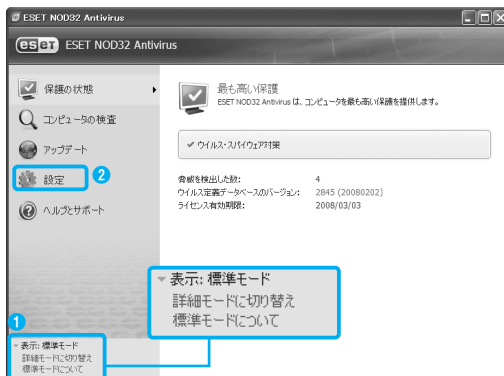
## アップデートをすべて自動で行うには

ESET NOD32アンチウイルスでは、ウイルス定義データベースのアップデートの他に、プログラムコンポーネントがアップデートされる場合があります。プログラムコンポーネントのアップデートを自動で行う設定を紹介します。



1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、ステータスバーの [表示: 標準モード] をクリックします。



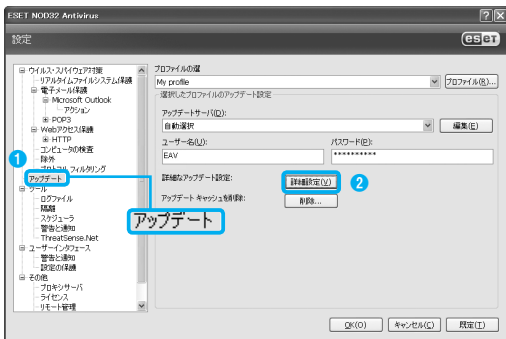
2

表示されるメニューから① [詳細モードに切り替え] をクリックし、続いて② [設定] ボタンをクリックします。



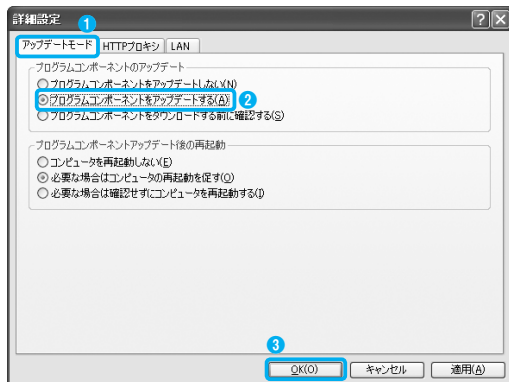
3

[環境設定で詳細な設定をする] をクリックして、設定画面を開きます。



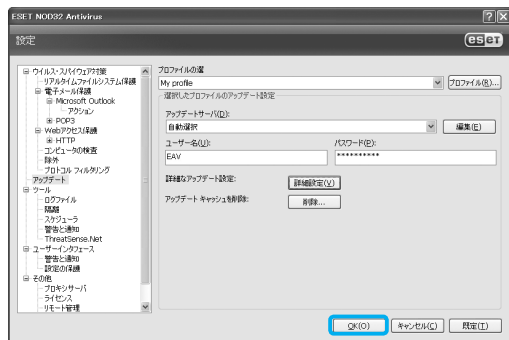
4

設定画面が開いたら、  
①左のツリーから [アップデート] をクリックし、  
② [詳細設定] ボタンをクリックします。



5

[詳細設定]ダイアログが表示されたら、1 [アップデートモード] タブにある2 [プログラムコンポーネントをアップデートする] をクリックしてチェックを入れ、3最後に [OK] ボタンをクリックします。



6

設定を有効にするため [OK] ボタンをクリックしてください。これでプログラムコンポーネントのアップデートが自動で行われます。プログラムコンポーネントがアップデートされた場合、コンピュータを再起動する必要がありますのでご注意ください。

アップデート

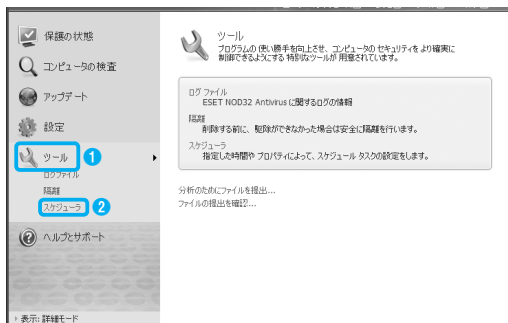
自動アップデートの確認

00020

4-4

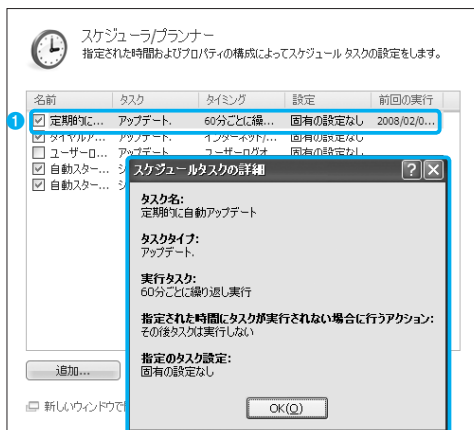
## 自動アップデートの設定を確認するには

ESET NOD32アンチウイルスではあらかじめ自動アップデートの設定がスケジューラタスクとして登録されています。ここでは、その内容を確認する手順を紹介します。



1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えます。①タスクの [ツール] ボタンをクリックし、② [スケジューラ] をクリックします。



2

① [定期的に自動アップデート] をダブルクリックすると、②スケジュール内容を示すダイアログが表示されます。

2

# Part.5

## 「設定」画面での操作

### (ウイルス・スパイウェア対策編)

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスの「設定」画面における「ウイルス・スパイウェア対策」に関するさまざまな操作方法についてご紹介しています。

設定

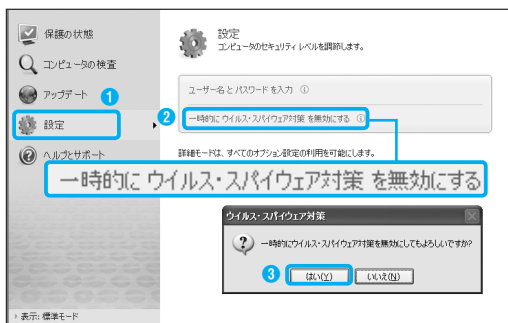
一時無効化

00021

5-1

## ファイル / 電子メール / Web アクセスの保護を一時的に無効にするには

ESET NOD32アンチウイルスが原因で問題が発生している可能性がある場合は、各機能を一時的に無効にしてみましょう。



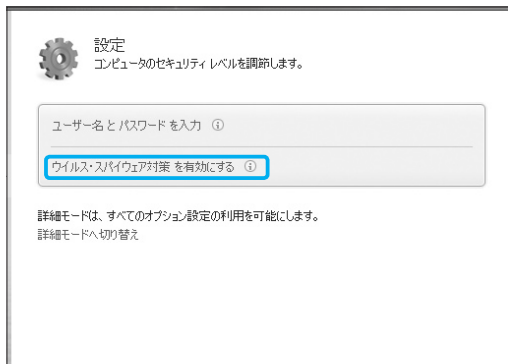
1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、①タスクの「設定」ボタンをクリックします。

②「一時的にウイルス・スパイウェア対策を無効にする」をクリックします。ダイアログの③「はい」ボタンをクリックすることで、各対策機能が無効になります。

2

ウイルス・スパイウェア対策を再度有効にするには、上記の手順で設定画面を開き、「ウイルス・スパイウェア対策を有効にする」をクリックします。



設定

除外拡張子の追加

00022

5-2

## ウイルス検査をしない拡張子を設定するには

特定の拡張子をウイルス検査から除外するためには、対象となる拡張子を登録します。ウイルス検査に要する時間を短縮できます。



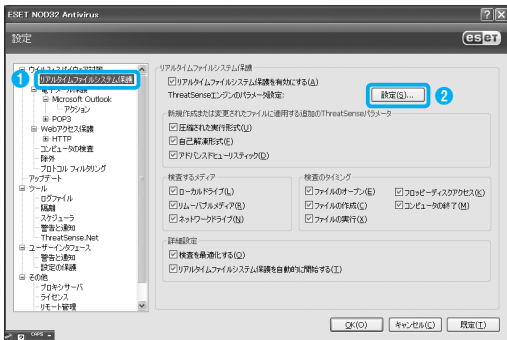
1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、1-2 を参考に「詳細モード」へ切り替えてから、① [設定] ボタンをクリックし、② [ウイルス・スパイウェア対策] をクリックします。



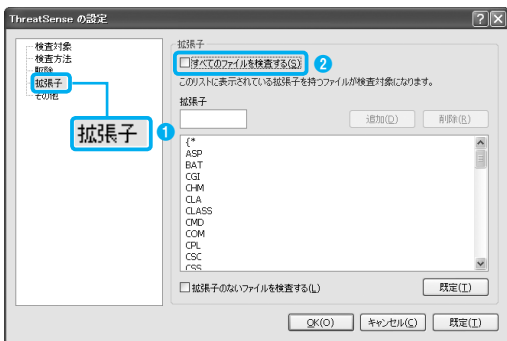
2

「リアルタイム ファイルシステム保護」の [設定] をクリックし、設定画面を開きます。



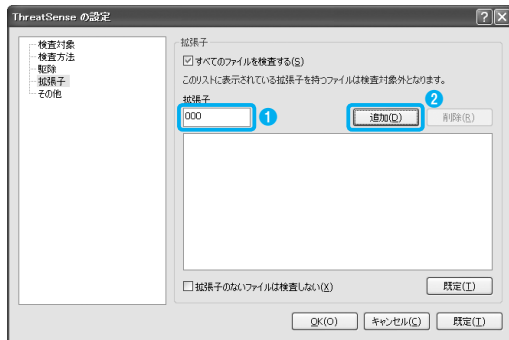
3

左のツリー① [リアルタイムファイルシステム保護] が選択された状態で設定画面が表示されます。② [設定] ボタンをクリックします。

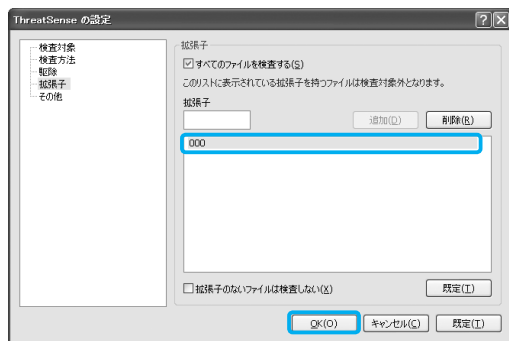


4

ThreatSense の設定ダイアログが開きます。拡張子の編集を行なうため、① [拡張子] をクリックします。続いて、② 「すべてのファイルを検査する」にチェックを入れます。



5 除外する拡張子を追加するには①「拡張子」のフォームに任意の拡張子（画面の例では「000」）を入力し、②「追加」ボタンをクリックします。



6 一覧に手順⑤で入力した拡張子が変わり、除外する拡張子が登録されます。最後に設定を有効にするため [OK] ボタンをクリックします。

**POINT**

[すべてのファイルを検査する] のチェックを外した場合は、登録されている拡張子のみが検査されます。

設定

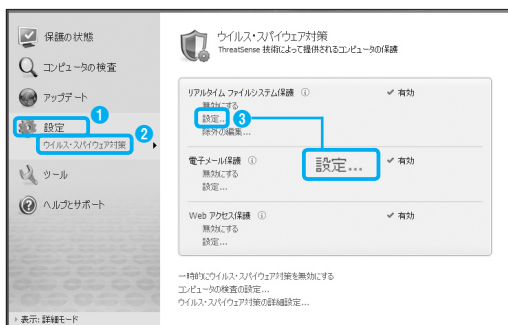
詳細設定

00023

5-3

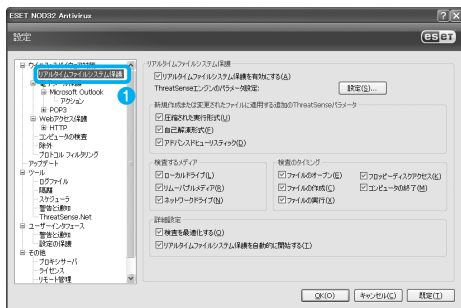
## ファイル / 電子メール / Web 保護 の詳細な設定を行うには

電子メール保護や Web 保護といった ESET NOD32 アンチウイルスの各保護機能には詳細設定項目が用意されています。ここでは、それぞれの詳細設定項目を呼び出すための手順をご紹介します。



1

1-1 を参考に基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、①タスクの [設定] ボタン、② [ウイルス・スパイウェア対策]、[リアルタイムファイルシステム保護] の③ [設定] と順番にクリックします。



2

① [リアルタイムファイルシステム保護] が選択された状態で設定ダイアログが開きます。なお、手順①で電子メール保護の [設定] をクリックした場合は [電子メール保護] が、Web アクセス保護の [設定] では [Web アクセス保護] が選択されます。

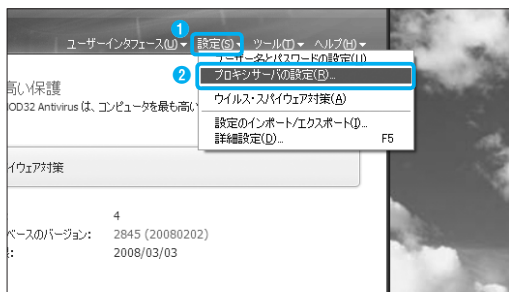
設定

プロキシサーバの設定

00024

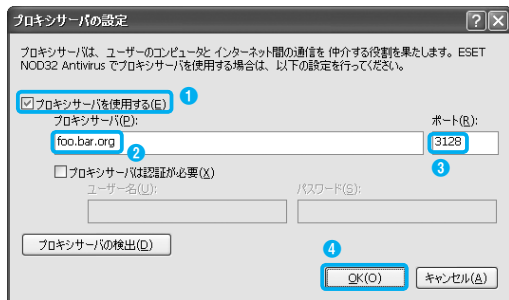
## 5-4 プロキシサーバを設定するには

プロキシサーバを経由してネットワークにアクセスしている場合は、アップデートを行うためにプロキシサーバの設定が必要です。



1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードに切り替えてから、メニューバーの①[設定]をクリックし、表示されたメニューから②[プロキシサーバの設定]をクリックします。



2

① [プロキシサーバを使用する] にチェックを入れ、② 「プロキシサーバ」欄にサーバ名、③ 「ポート」欄にポート番号を入力します。最後に④ [OK] ボタンをクリックすれば設定完了です。

### POINT

[プロキシサーバの検出] ボタンをクリックすると、Internet Explorer で設定されたプロキシサーバを自動検出することができます。

設定

通信のコントロール

00025

5-5

## Web 閲覧やメールの通信に対する ウイルス検査設定を変更するには

Web ブラウザが使用する HTTP や電子メールが使用する POP3 各プロトコルの通信は、ThreatSenseによって検査されます。必要に応じて検査の設定を変更することができます。

### ■ 設定画面を起動してみよう

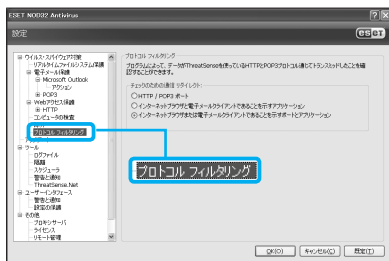


1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、[設定] ボタンをクリックすると表示される [環境設定で詳細な設定をする] をクリックします。

### POINT

画面のように [環境設定で詳細な設定をする] が表示されていない場合は、1-2 を参考に [詳細モード] への切り替えを行ってください。

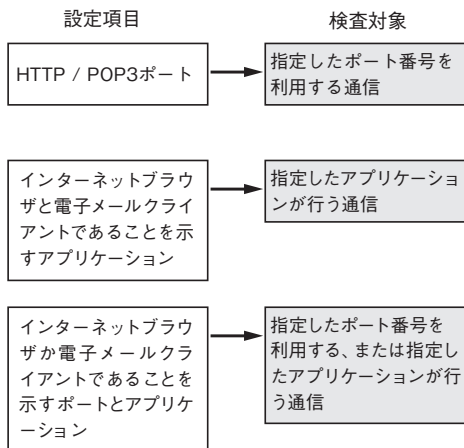


2

設定ダイアログが表示されたら、左側に並ぶツリーから [プロトコルフィルタリング] をクリックします。これでプロトコルフィルタリングに関する設定項目が表示されました。

## ■ 設定のルールを知ろう

プロトコルフィルタリングでは、3種類の通信リダイレクト設定から選択することができます。通信リダイレクトの設定によって、どの通信に対してウイルス検査を行うかが変更されます。



1

通常は、既定値である「インターネットブラウザか電子メールクライアントであることを示すポートとアプリケーション」を選択することをお勧めします。Webの閲覧や電子メールの受信に問題が発生した場合など、必要に応じて設定を変更することができます。

### POINT

「リダイレクト」とは、通信の方向を変更して ThreatSense によるウイルス検査を行うことを意味します。

## ■ 検査を行うポート番号を指定するには

特定のポートを利用するHTTP/POP3通信をウイルス検査することができます。通常はHTTPでは80番ポートが、POP3では110番ポートが使用されますが、環境によっては異なるポートを利用する場合がありますのでご注意ください。

### CAUTION

プロトコルフィルタリング設定にて「インターネットブラウザと電子メールクライアントであることを示すアプリケーション」を指定した場合は、HTTPのポートを設定することはできません。

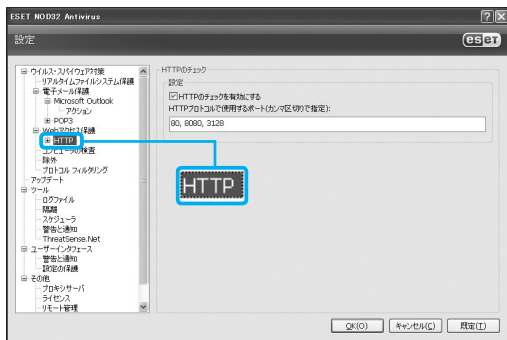


1

1-1を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、[設定] ボタンをクリックすると表示される「環境設定で詳細な設定をする」をクリックします。

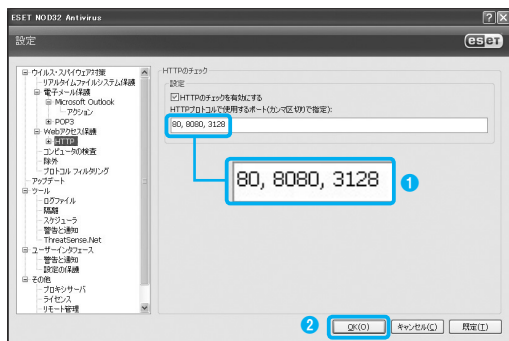
### POINT

画面のように「環境設定で詳細な設定をする」が表示されていない場合は、1-2を参考に「詳細モード」への切り替えを行ってください。



2

設定ダイアログが表示されたら、[HTTP]をクリックします。



3

HTTP プロトコルで使用するポートの設定を行います。①テキストボックスにHTTP プロトコルで使用するポートをカンマ区切りで追加もしくは書き換えてください。最後に② [OK] ボタンをクリックすれば設定完了です。

**POINT**

電子メールクライアントの設定を行う場合はツリーから [POP3] をクリックし、同じ手順で使用するポートを入力もしくは書き換えてください。

## ■ 検査を行うアプリケーションを指定するには

特定のアプリケーションが行う HTTP/POP3 通信をウイルス検査することができます。多数のポート番号を使用するアプリケーションなど、ポート番号管理が煩雑な場合はこちらの設定をご使用ください。

### CAUTION

プロトコルフィルタリング設定にて「HTTP/POP3」を指定した場合は、この設定を行うことはできません。

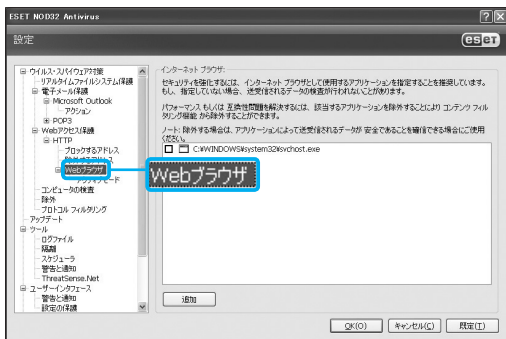


1

1-1 を参考にタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックして基本画面を開き、[設定] ボタンをクリックすると表示される [環境設定で詳細な設定をする] をクリックします。

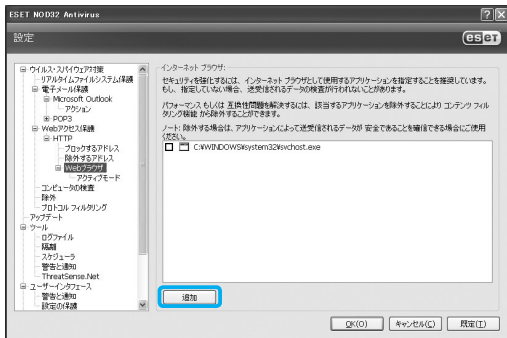
### POINT

画面のように [環境設定で詳細な設定をする] が表示されていない場合は、1-2 を参考に「詳細モード」への切り替えを行ってください。



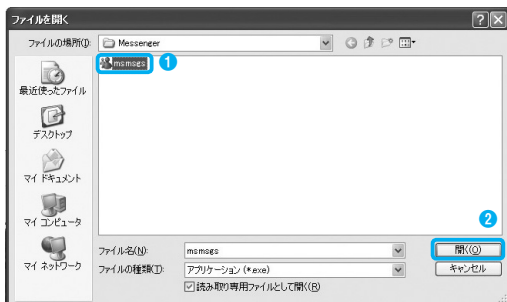
2

設定ダイアログが表示されたら、[Webブラウザ] をクリックします。



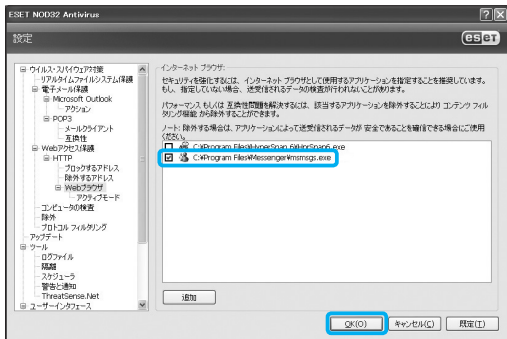
3

使用するインターネットブラウザを追加します。画面右にある「追加」ボタンをクリックします。



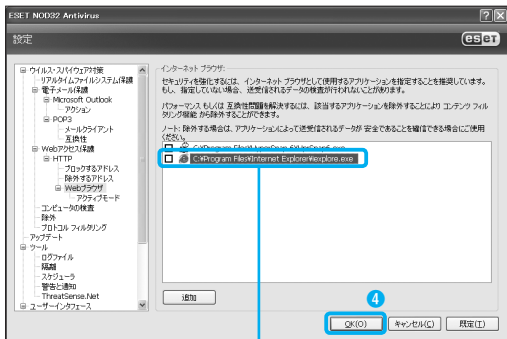
4

「ファイルを開く」ダイアログが表示されるので、①任意のアプリケーションを選んで、②「開く」ボタンをクリックします。



5

これで一覧にアプリケーションが選択されました。送受信するデータの検査を行うアプリケーションを追加する際は手順をご使用ください。最後に [OK] ボタンをクリックすれば設定完了です。



6

本設定では「Webブラウザ」に対して3段階の設定が可能です。①チェックがある場合はポート番号とWebブラウザの両方を監視対象とし、②チェックを外すとポート番号のみ監視。そして、③「×」にするとそのWebブラウザの通信を監視しません。チェックボックスをクリックして切り替えてください。最後に④ [OK] ボタンをクリックすれば設定完了です。



設定

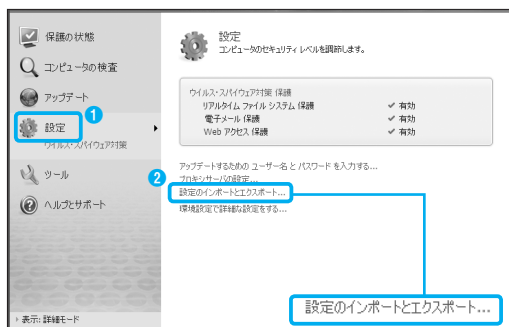
インポート・エクスポート

00026

## 5-6

## 詳細設定を保存・復元するには

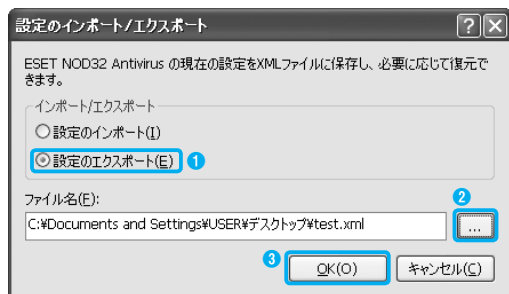
ここでは、詳細設定をファイルに出力し、保存・復元するための手順を紹介します。



1

1-1 を参考に基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、①タスクの [設定] ボタンをクリックします。② [設定のインポートとエクスポート] をクリックします。

2



設定を保存するには、① [設定のエクスポート] をクリックしてチェックを入れ、② [...] ボタンをクリックしてファイル名、保存場所を設定してから、③ [OK] ボタンをクリックします。

## POINT

設定を復元するには、手順②で [設定のインポート] を選択し、[...] ボタンをクリックして復元する設定ファイルを選択します。



# Part.6

## 「ツール」画面での操作

ESET NOD32アンチウイルスでは「ツール」を利用することで、より高度な設定や確認が可能になります。ここでは、それらのさまざまな操作方法についてご紹介しています。

ツール

ログファイルの確認

00027

6-1

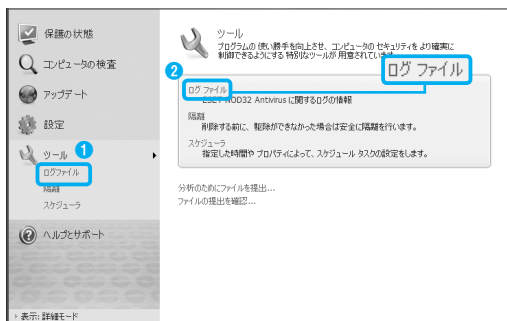
## 詳細なログファイルを確認するには

ウイルスの発見・駆除や検査、アップデート情報などのログファイルを確認するには、詳細モードに切り替えると表示される「ツール」ボタンから参照します。



1

1-1 を参考に ESET NOD32 アンチウイルスの基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、[ツール] ボタンをクリックします。



2

1 [ログファイル]、もしくは2 [ログファイル]をクリックします。

ログファイル  
ESET NOD32 Antivirus に関するログを参照します。

ログ: 検出された脅威

日時	検	オ	名前	脅威	ア...	ユ...	情報
2008/02/...	リ...	フ...	C:\System V...	Anticad.4096...	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	P...	電...	from: ifcytha...	Win32/NetSk...	感...	VMX...	アプリケ...
2008/02/...	P...	電...	from: Loren...	Win32/Troja...	感...	VMX...	アプリケ...
2008/02/...	P...	電...	from: bmailp...	Win32/NetSk...	感...	VMX...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WRECYCLE...	Headcrsh.A ...	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Mono ウイルス	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Mono ウイルス	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Mono ウイルス	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Mono ウイルス	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Anticad.4096...	削...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Zigzag.232 ...	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Zigzag.232 ...	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOCUME...	Zigzag.232 ...	駆...	NT ...	アプリケ...
2008/02/...	リ...	フ...	C:\WDOC IMF...	Convrcht.11...	駆...	NT ...	アプリケ...

コピー

新しいウィンドウで開く

3

ログの閲覧が可能になりました。「検出された脅威」では発見したウイルスが一覧形式で表示されます。

ログファイル  
ESET NOD32 Antivirus に関するログを参照します。

ログ: イベント

日時	機能	イベント	ユ...
2008/02/03 12...	カーネル	統計情報が ESET に送信されました。	
2008/02/03 12...	カーネル	ウイルス定義データベースは正常にバージョ...	
2008/02/03 12...	アップデート	ユーザー名またはパスワード (あるいはその...	N...
2008/02/01 8:...	アップデート	ユーザー名またはパスワード (あるいはその...	N...

コピー

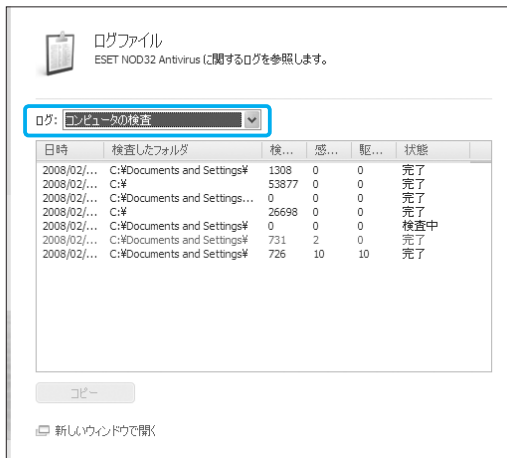
新しいウィンドウで開く

4

「ログ」のドロップダウンリストから [イベント] を選ぶと、アップデートなど ESET NOD32 アンチウイルスに関する情報を確認できます。

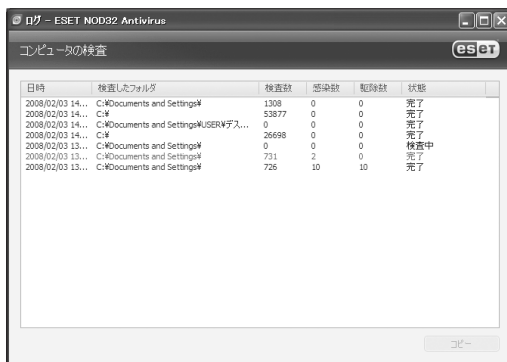
## POINT

閲覧できるログは「検出された脅威」「イベント」「コンピュータの検査」の3種類です。



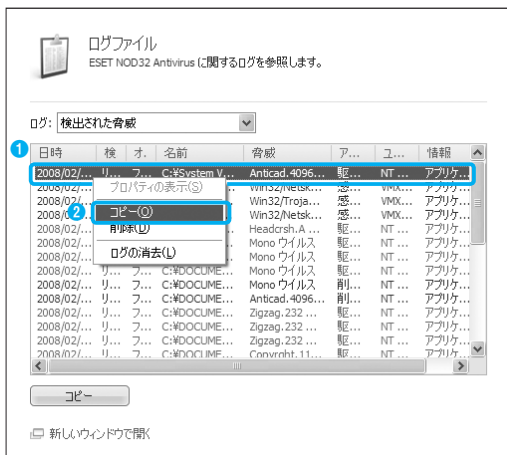
5

「ログ」のドロップダウンリストから「コンピュータの検査」を選ぶと、オンデマンドコンピュータ検査の動作結果を確認できます。



6

「新しいウィンドウで開く」をクリックすると、単独のウィンドウが開き、選択していたログが表示されます。各項目の視認性が高まるため、内容を詳細に確認する場合にご使用ください。

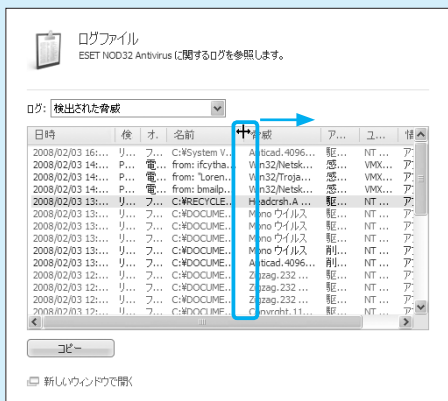


7

ログファイルの内容は、テキストエディタなどにコピーできます。①対象を右クリックし、メニューから②[コピー]をクリックします。また選択しているログを消去するときは [削除] をクリックします。すべてのログを消去するときは [ログの消去] をクリックします。

## POINT

各レコードの端をドラッグすることで、表示領域を拡大することができます。画面のように名前の内容が長く、表示が途切れている場合は、「名前」の右端を右方向にドラッグします。



ツール

隔離ファイルの確認・追加

00028

6-2

## 各種検査で隔離されたファイルを確認・追加するには

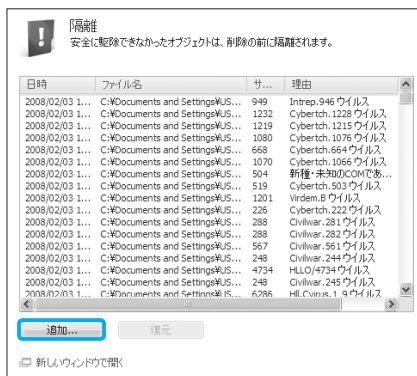
ESET NOD32アンチウイルスでは、ウイルスを発見すると、隔離する仕組みになっています。ここでは隔離ファイルに関する操作手順を紹介します。

### ■ 隔離されたファイルを確認するには



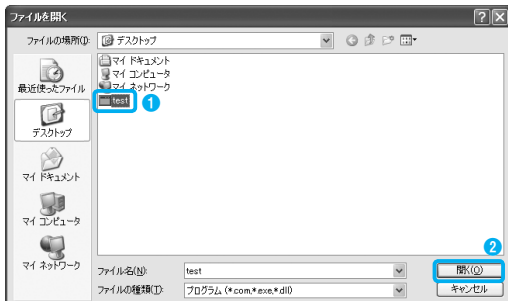
1

1-1 を参考に基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、① [ツール] ボタンをクリックし、② [隔離]、もしくは③ [隔離] をクリックします。



2

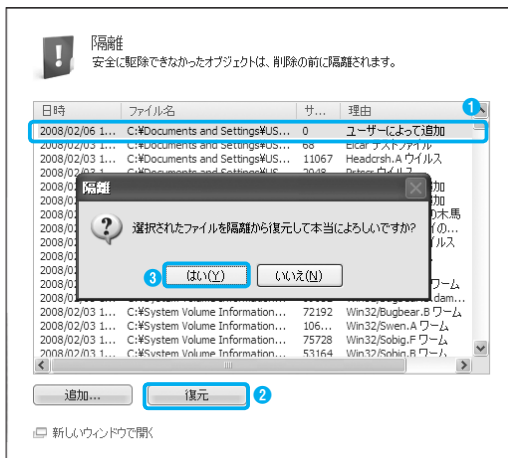
ESET NOD32アンチウイルスが隔離しているウイルスの一覧が表示されます。これらのファイルは無効化されているため、安全です。手動でウイルスや疑わしいファイルを隔離するには [追加] ボタンをクリックします。



3

ファイル選択ダイアログが表示されます。① 隔離したいファイルを選んでから② [開く] ボタンをクリックします。

## ■ 隔離されたファイルを復元するには



1

隔離したファイルを復元させるには、一覧から①復元したいファイルを選択し、② [復元] ボタンをクリックします。確認ダイアログが表示されるので③ [はい] ボタンをクリックします。

ツール

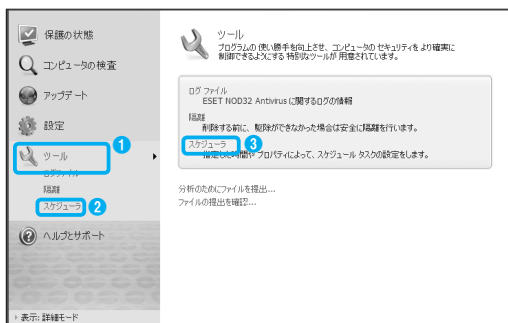
スケジュール設定

00029

6-3

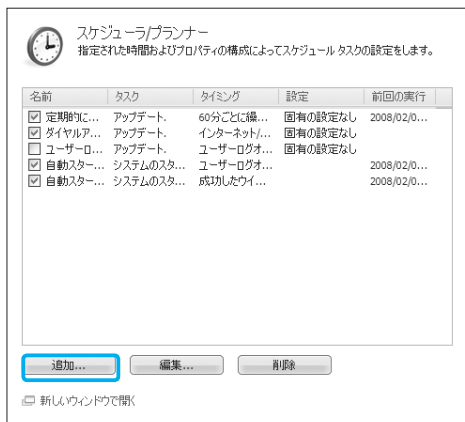
## 自動検査・アップデートの スケジュールを設定するには

ESET NOD32アンチウイルス ではウイルス定義データベースの自動アップデートなどがあらかじめスケジュールされていますが、必要に応じて、新たなスケジュール設定を行えます。



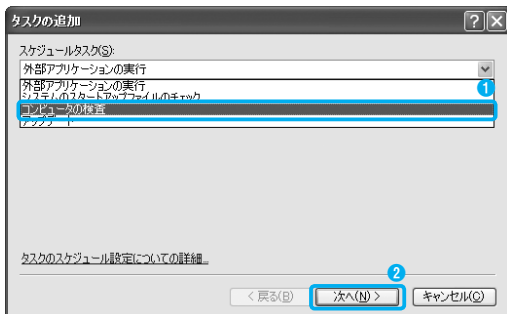
1

1-1 を参考に基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、① [ツール] ボタンをクリックします。② [スケジュール]、もしくは③ [スケジュール] をクリックします。



2

現在設定されているスケジュールの一覧が表示されます。例として毎週日曜日にウイルス検査を行うスケジュールを作成します。[追加] ボタンをクリックします。



3

「タスクの追加」ウィザードが起動したら、ドロップダウンリストから① [コンピュータの検査] を選択し、② [次へ] ボタンをクリックします。

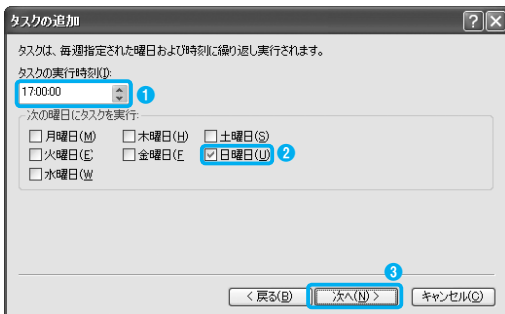


4

タスクの名前、タスクを実行する間隔を指定します。タスク名に任意の名前を入力し(例: 自動検査)① [毎週] をクリックしてチェックを入れてから、② [次へ] ボタンをクリックします。

### POINT

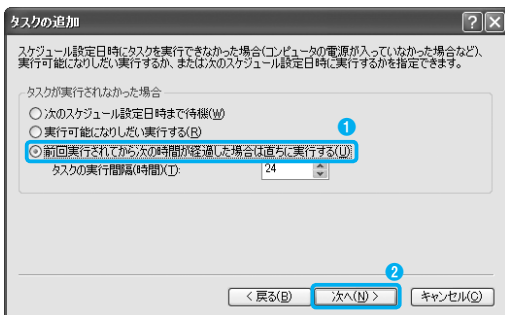
ウイルス定義データベースのアップデートに関するタスク作成も、手順③で [アップデート] を選択することによって設定できます。



5

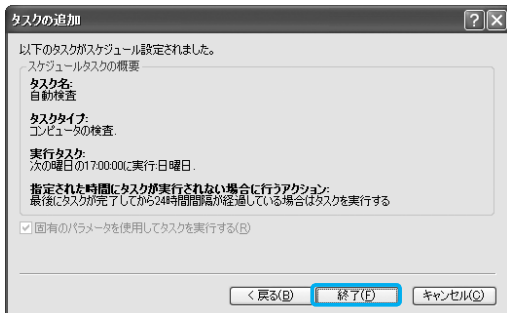
次にタスクの実行時刻と曜日を選択します。

①「タスクの実行時刻」にある矢印ボタンで任意の時間を選択し、②「日曜日」をクリックしてチェックを入れてから、③「次へ」ボタンをクリックします。



6

タスクが実行されなかったときのアクションを選択します。①「前回実行されてから次の時間が経過した場合は直ちに実行する」をクリックしてチェックを入れてから、②「次へ」ボタンをクリックします。



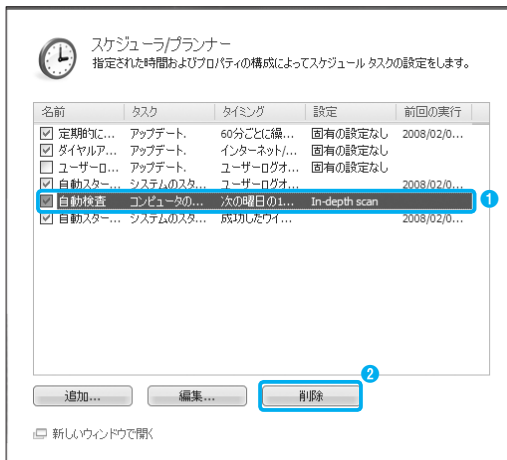
7

設定内容の確認を行います。設定に誤りがある場合は [戻る] ボタンをクリックして再設定してください。問題がなければ [終了] ボタンをクリックします。



8

検査内容を設定するダイアログが表示されます。①検査したい対象にチェックを入れ、② [設定] ボタンをクリックしてください。



9

スケジュールタスクの一覧に、新たなタスクが追加されました。また、不要になったスケジュールは項目の先頭にあるチェックを外すが、①項目を選択して② [削除] ボタンをクリックします。

ツール

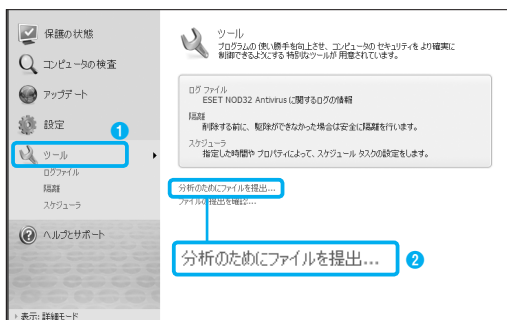
検体の提出

00030

## 6-4

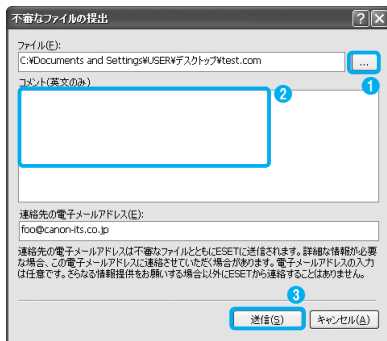
新種のウイルスと判定された  
ファイルを提出するには

ウイルスとしては検出されませんが、ウイルスの可能性があると判断されたファイルや明らかに動作に異常が見られるファイルを発見したときは、同ファイルをESET社までお送りください。以下に手順を紹介します。



1

1-1 を参考に基本画面を開き、1-2 を参考に詳細モードへ切り替えてから、① [ツール] ボタンをクリックし、② [分析のためにファイルを提出...] をクリックします。



2

ダイアログが表示されたら① [...] ボタンをクリックしてファイルを選択してから、② 「コメント」欄に症状やファイルの動作など詳細説明を加えます (\* )。最後に③ [送信] ボタンをクリックします。 (\* : コメントは ESET NOD32 アンチウイルスの開発元である ESET 社へ直接送られます。英語以外のコメント内容は ESET 社で確認できない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。)

## CAUTION 「連絡先の電子メールアドレス」について

手順②の連絡先の電子メールアドレスの入力は任意です。

# Part.7 「ヘルプとサポート」画面での 操作

ここでは、ESET NOD32アンチウイルスのヘルプとサポートについてご紹介しています。

ヘルプ

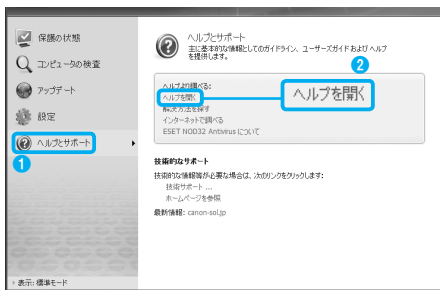
FAQの確認

00031

7-1

## ヘルプとFAQ (よくある質問)を見るには

迅速に ESET NOD32 アンチウイルスの機能を確認するときはヘルプ機能をご覧ください。基本的な使い方だけでなく技術的な解説も収録されています。



1

1-1を参考にESET NOD32アンチウイルスの基本画面を開き、① [ヘルプとサポート] ボタンをクリックします。② [ヘルプを開く] をクリックすると、ヘルプが表示されます。



2

ヘルプではテーマ別に分類された複数の章と節で構成されています。調べたい内容をツリーからたどるか、<検索>タブから関連するキーワードを入力して情報をお探しください。

ヘルプ

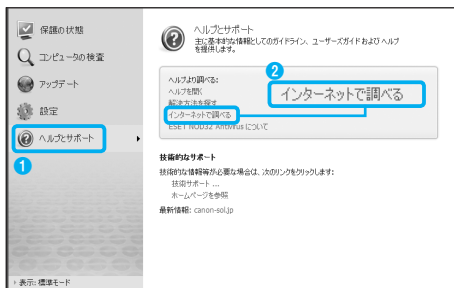
ナレッジベース

00032

7-2

## サポート情報を検索するには

ESET NOD32アンチウイルスに関するよくある質問とその回答を弊社ホームページ上にて公開していますので、ぜひご活用ください。



1

1-1 を参考に基本画面を開き、①タスクの「ヘルプとサポート」ボタンをクリックします。次に②「インターネットで調べる」をクリックします。



2

サポート情報の Web ページにアクセスし、ESET NOD32 アンチウイルスに関するサポート情報を閲覧することができます。

▶ Web ページの内容は変更される場合があります。

## POINT

インターネットにアクセスできる状態（ダイヤルアップ環境であれば、事前にダイヤルアップ接続を行う）で実行してください。

ヘルプ

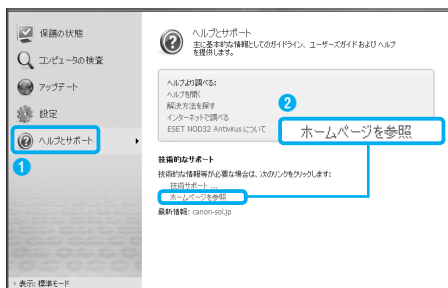
Web ページ

00033

## 7-3

本製品に関する弊社ホームページ  
にアクセスするには

本製品に関する情報は、弊社ホームページにて公開しております。



1

1-1 を参考に基本画面を開き、① [ヘルプとサポート] ボタンをクリックします。次に② [ホームページを参照] をクリックします。

2

ESET NOD32 アンチウイルスの様々な情報を確認できます。

## POINT

インターネットにアクセスできる状態（ダイヤルアップ環境であれば、事前にダイヤルアップ接続を行う）で実行してください。